

# 高等部の取り組み

## 1. はじめに

高等部では卒業後の進路を見据えた指導を充実させるために、教育目標である「生徒の個性に応じた教育の促進」や「自立する力を育てる教育活動の充実」を念頭に置き、さまざまな学習活動に取り組んだ。

## 2. 生徒の実態

		生徒の実態			
移動	歩行	自立歩行 5名 / 介助歩行 2名			
	車いす	電動車いす 5名	自走車いす 5名	全介助 15名	
食事	自立	10名	部分介助 8名	全介助(含経管) 15名	
排泄	自立	6名	部分介助 7名	全介助 20名	
言語	会話	8名	二語文・単語 7名	表情・動作 18名	

## 3. 取り組み

新年度早々に生徒の実態を把握するとともにプロフィールを作成し、保護者と共に個別の教育支援計画を策定した。教育支援計画については、年度末に達成状況を検証して次年度へ結びつけている。また、学級での自立活動及び各教科・領域などの長期・短期の目標を設定して学期毎に指導計画を立て、実践及び評価を行い、指導を進めている。

定期的に学部だよりを発行し、各行事での取り組みや生徒の様子などを掲載して、保護者とのコミュニケーションが円滑に進むように工夫した。また、学校ホームページの整備に伴い、11月21日から高等部ブログのテスト配信を始めている。

進路指導に関しては、卒業後に充実した生活を送るために保護者及び関係諸機関との連携を早い段階から行うため、「夏休み一日体験」を踏まえて2年生の冬より現場実習に取り組み、より自分にあった進路先を見つけられるようにしている。また、1、2年生は保護者・担任・進路指導主事の「進路懇談」を行い、保護者の希望を聞き、進路について情報収集及び情報提供を行っている。

高等部の特色ある取り組みとして、学年活動日・おもしろわくわく発表会・冬季学部行事での保護者を交えたもちつきなどを実施することで、日常の学習活動では経験しにくい自己表現力や感受性を高めている。

## 4. 学習グループと時間割

### (1) 学習グループ

Aグループ	(準ずる教育課程)	0名
B1グループ	(知的代替による教育課程)	2名(1年0名, 2年0名, 3年2名)
B2グループ	(知的代替による教育課程)	5名(1年2名, 2年3名, 3年0名)
C1グループ	(自立活動を主とする教育課程)	8名(1年3名, 2年2名, 3年3名)
C2グループ	(自立活動を主とする教育課程)	6名(1年1名, 2年2名, 3年3名)
D1グループ	(自立活動を主とする教育課程)	7名(1年2名, 2年0名, 3年5名)
D2グループ	(自立活動を主とする教育課程)	5名(1年3名, 2年2名, 3年0名)
訪問		0名

(2) 学習グループ別時間割

A グループ (今年度は開講せず)

	月	火	水	木	金
1	自活	総合	自活	自活 (全体)	自活
2	社会	体育	国語	自活	国語
3	社会	自活	英語	体育	国語
4	自活	数学	英語	自活	体育
5	理科	家庭	総合	数学	美術
6	理科	家庭	HR	数学	美術

B 1 グループ

	月	火	水	木	金
1	自活	自活 (全体)	自活	自活 (全体)	自活
2	数学	体育	家庭	音楽	社会
3	数学	音楽	家庭	体育	社会
4	福祉	情報	情報	数学	国語
5	国語	理科	総合	英語	美術
6	国語	理科	HR	英語	美術

B 2 グループ

	月	火	水	木	金
1	自活	自活 (全体)	自活	自活 (全体)	自活
2	生活单元	体育	数学	音楽	国語
3	生活单元	音楽	数学	体育	国語
4	自活	自活	自活	自活	自活
5	生活单元	国語	総合	生活单元	美術
6	生活单元	国語	HR	生活单元	美術

C 1 グループ

	月	火	水	木	金
1	自活	自活 (全体)	自活	自活 (全体)	自活
2	作業	ことば・かず	えがく ・つくる	ことば・かず	コミュニケーション
3					
4	自活	自活	自活	自活	自活
5	おんがく	スポーツ	総合	せいかつ	からだ ・感覚
6			HR		

C 2 グループ

	月	火	水	木	金
1	自活	自活 (全体)	自活	自活 (全体)	自活
2	朝の学習	朝の学習	朝の学習	朝の学習	朝の学習
3	みる・きく	個別学習	うんどう	みる・きく	個別学習
4	自活	自活	自活	自活	自活
5	えがく ・つくる	おんがく	総合	からだ ・感覚	せいかつ
6			HR		

### D 1 ・ D 2 グループ

	月	火	水	木	金
1	自活	自活 (全体)	自活	自活 (全体)	自活
2	朝の学習	朝の学習	朝の学習	朝の学習	朝の学習
3	みる・きく	個別学習	からだ・感覚	みる・きく	個別学習
4	自活	自活	自活	自活	自活
5	からだ ・感覚	せいかつ	総合	えがく ・つくる	おんがく
6			HR		

### 5. おわりに

今年度より、火・木1時間目に「全体自活」の授業を設定した。生徒を「体幹」、「立位・歩行」、「生活動作」の3グループに分けて指導している。そのねらいは、①教員全体の肢体不自由児に対するスキルアップを図る。②生徒自身が自分の身体の特徴を知る。③校内の支援器具を積極的に活用することにある。その結果、教員集団がスキルアップするとともに、自分の身体の特徴を知った生徒が増えた。来年度以降も、生徒の実態に応じた学習グループや時間割、授業内容となるように検証を行いながら学習活動に取り組んでいきたい。